

外海府・大野亀のトビシマカンゾウの大群落

佐渡島（さどしま）



【場所】新潟県佐渡市
大野亀（おおのかめ）



島の人口：67,386人
島の面積：855.11 km²
(平成17年国調)

毎年5月末から6月にかけて、佐渡島北端の外海府、大野亀は一面トビシマカンゾウの花畑になります。トビシマカンゾウは飛島と佐渡島だけに自生し、佐渡では「ヨーラメ」と呼びます。「ヨー」は魚、「ラメ」は卵をはらむことで、この花が咲くと魚が生きかえると言われています。牛の放牧が盛んだった頃は雑草が生えず、トビシマカンゾウの大群生地となっていました。平成6年から地元の人々により、カヤ刈りなどの保護増殖活動が始まり、現在では行政・企業・ボランティアなどの協力も得て、素晴らしい景観が戻ってきました。佐渡市の花、カンゾウは人々の手で大切に守られています。

写真上：二つ亀を望む丘陵にカンゾウの絨毯が広がる

写真右：地元住民やボランティア等によるカヤ刈りを実施



問い合わせ先：国土交通省都市・地域整備局離島振興課

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

TEL 代表 03-5253-8111(内 33-144) 直通 03-5253-8421